

-----8月17日-----

今週のアウトルック(8/17~8/21)

ドル円は正念場といった感じです。
相変わらず株高から円安を予想する方が多いようです。
しかし、NYダウの盛り上がりの割にはドル円もクロス円もそれほど円安が進んでいないといった印象を受けます。
これは、NYダウが投機的な部分に左右されている状況が強く、為替はある程度景気状況を的確に反映している、とも捕らえられなくもないようにも思うのですが、今週から来週の動きにその真偽が隠されているようにも思います。

ドル円は一度97.5円を一時的に超えましたが、すぐに戻される形となっています。97.5円を大きく超えてこない限り、100円に迫る展開になる可能性は少ないように思います。

週末には再び95円を割れて、今週はいよいよ再び93円あたりをうかがう展開になるのではと考えています。相変わらずNYダウのに左右されてしまう展開は続きそうですが、NYダウのもう一段の上昇がない限り、93円を目指すシナリオには大きな変化はないと考えています。予想レンジは93円~96円としています。

ユーロ円は140円の壁を超えることはできませんでした。何事もなければ、再び130円割れを目指す展開になるように考えています。ユーロ圏もGDPなどの結果から、底打ち感が強調されていますが、この影響は短期的なものになるのではないかと考えています。予想レンジは128円から137円としています。

ポンド円は160円の壁を大きく超えて上昇トレンドに乗ることはできませんでした。このことから再びレンジ相場に戻り、150円割れを目指す展開になるのではと考えています。予想レンジは148円から160円です。

NYダウが頭打ち感から利益確定の動きが本格化すれば、ドル円、クロス円もそろそろ円高の動きが本格化してもおかしくないように感じています。ドル円が93円を割れてい来ると、逆にNYダウや日経平均にも影響を及ぼすようになると思います。

* 免責事項 *

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。